

弘前市まちづくり 1% システム採択事業

弘前ねぶた囃子 中上級編

青森ねぶた囃子

五所川原立佞武多囃子

山内ねぶた囃子

お山参詣 登山囃子

かつぎ桶太鼓

初心者のための音の出し方

ねぶた笛でセッション!

いっい音を出すテクニック

津軽笛博覧会

ギネス記録も持つ津軽の笛が大集合!
ワークショップとコンサートのコラボレーション!

と き : 平成 25 年 9 月 29 日 (日)
午前 10 時 ~ 午後 18 時

と ころ : 藤田記念庭園 / 弘前市立観光館

入園料 : 大人 300 円 / 子供 100 円 (藤田記念庭園入園料として)

主 催 : 津軽笛地域づくり実行委員会

後 援 : (公社) 全日本郷土芸能協会、青森県弘前市 観光政策課、青森県五所川原市 商工観光課、
(公社) 弘前観光コンベンション協会、RAB 青森放送、FMアップルウェーブ、
陸奥新報社、邦楽ジャーナル、津軽藩ねぶた村、ねぶたの里、
青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 W・ラッセ (順不同)

お申込・お問合せ : 津軽笛博覧会事務局 0172-33-9359 (喫茶れもん)

会場のご紹介

藤田記念庭園は日本商工会議所会頭も務めた実業家である藤田謙一が、1919年(大正8年)に郷里である弘前市に別邸を構える際に東京から庭師を招いてつくらせた江戸風な景趣の庭園です。園内は、高さ13mの崖地をはさんで高台部と低地部分に分かれており、高台部は岩木山を借景した洋風庭園で、低地部は池泉回遊式の日本庭園となっています。総面積は約21,800m²に及び、東北地方でも有数の大規模な庭園です。



津軽笛博覧会

平成25年9月29日（日） 10:00～
藤田記念庭園 / 弘前市立観光館

ワークショップ講師・コンサート出演者のプロフィール

わの會 (わのかい) 青森ねぶた囃子

ワークショップ&コンサート



ねぶた囃子の演奏を中心に活動する祭礼団体。青森ねぶた祭ではパソニックねぶた会の囃子方を長年担当し、平成22年商工会議所会頭賞（総合4位）を獲得。ねぶた囃子の他に、お山参詣第65回県下登山囃子奉納本大会では松組優勝と竹組準優勝の組を輩出。また、活動の領域は祭囃子の演奏だけでなく、青森市善知鳥神社神輿渡御や十和田市秋祭り中央町内会わ組神輿渡御にも毎年参加。

津軽笛の会 (つがるぶえのかい) お山参詣 登山囃子

ワークショップ



2008年、津軽の笛文化を広く知ってもらおう、次世代に繋げようという趣旨で横笛普及プロジェクトとして設立。演奏会を中心に活動し、2010年、横笛合同演奏者数世界記録を達成する為に名称を津軽横笛ギネス実行委員会と改名。2011年、見事3,742名で世界記録を樹立する。2013年、名称を津軽笛地域づくり実行委員会（通称：津軽笛の会）と改名し、『世界一祭り囃子が似合う街津軽』体現の為に活動を行う。

鎌田組 (かまたぐみ) お山参詣 登山囃子

コンサート



お山参詣保存会 第64代松組中弘南支部 鎌田組。2007年4月弘前さくらまつり協賛県下登山囃子準本大会から大会に参加。数々の地区大会、本大会出場を経て2010年9月7日第64回県下登山囃子奉納本大会において一般の部である竹組で優勝。同年11月3日岩木山神社新嘗祭での奉納演奏をもって、囃子手の多い津軽において年一組しか選ばれない登山囃子の最上位・松組に昇格。2012年第66回県下登山囃子奉納本大会で松組優勝 現在も大会に出場中。

佐藤ぶん太、(さとうぶんた、) いの音を出すテクニック

ワークショップ



9歳からお山参詣の登山囃子・下山囃子を学ぶため、古川栄悦氏・小野文男氏に師事。1993年、津軽の囃子大会の最高峰と言われる「お山参詣県下登山囃子競演本大会」で高校3年生で優勝。その後大会の最上位クラス松組で岩木山本大会6度の優勝を果たす。またJAZZピアニスト木住野佳子をはじめ、様々なジャンルの演奏家との共演も果たし、津軽の笛の潜在能力の高さを示す。2011年、津軽の笛を世界に発信すべく「ねぶた囃子でギネスに挑戦」を提案、実行委員長として携わり、3,742名でのねぶた祭り笛合奏に成功。見事「笛合同演奏者数世界一」のギネス記録を津軽一丸となって樹立する。現在、囃子の後継者育成に力を注ぐ傍ら、全国各地で公演も重ね、津軽の横笛文化の素晴らしさを伝えるために日々奔走する。

特別講座 林田ひろゆき (はやしだひろゆき) かつぎ桶太鼓

ワークショップ&コンサート



和太鼓奏者としてFIFAワールドカップ閉会式、ハノーバー EXPO に出演するなど、世界32ヶ国でワールドワイドに公演を行う。圧倒的なテクニック・ダイナミクスと、個性的で魂とエネルギー溢れる奏法を武器とし、和太鼓アンサンブルを音楽的に作編曲・構成が出来る和太鼓界唯一の奏者。世界に日本の和太鼓の存在を大きく知らしめた『鼓童』のメンバーとして、1985年より7年間で800回を超える舞台で活躍し、その後、世界中の独自の個性や表現力を持った民族打楽器奏者が、様々な音楽の場で活躍している現在に於いて、個人より集団としての形式美や音量、音楽性よりパフォーマンス性の派手さを重視されがちな、現在の和太鼓のスタイルに疑問を持ち、「太鼓は音楽としても発展する必要がある」との考えから、音楽性や個性を重要視するソロ和太鼓奏者として活動を開始。

藤田記念庭園 会場

上白銀町から馬屋町に広がるこの庭園は、弘前市出身の実業家 藤田謙一が、大正年間に別荘として造らせたものです。面積は、2.18ヘクタールあり、高台部には登録有形文化財の洋館、和館、考古館などのほかに、岩木山を望む庭園が広がり、低地部には茶屋もあり、四季折々に自然を楽しむことができます。

心組 (こころぐみ) 五所川原立佞武多囃子

ワークショップ&コンサート



五所川原市の大型立佞武多の囃子方として、毎年お祭に参加しています。会員は大人から子供まで総勢200人。今迄の活動は、2004年の大晦日に日本テレビの「ぐるナイ」のスペシャル番組に出演や月1回、立佞武多の館でのお囃子の実演など、多方面のイベントで活躍をしています。津軽に伝わる色んな囃子を勉強すると共に、1人でも多くの人に祭の良さを知ってもらおうと活動中です。

北天玄武乃会 (ほくてんげんぶのかい) 川内ねぶた囃子

ワークショップ&コンサート



過疎化や地域経済の衰退により元気がなくなる地元『川内』をねぶたや祭りで賑わっていた、かつての時代のように盛り上げたいという気持ちから、囃子好きの仲間が集い、平成20年に結成。川内ねぶた出陣はもとより、小・中学生に川内ねぶた囃子を指導するなど伝統文化の継承にも力を注ぐ。また、老人ホーム等の施設慰問、夏祭り等の各種地域イベントでの盛り上げ役など、下北管内でお囃子をツールに地域活性化活動を行う、下北の郷土芸能を今後牽引していくであろう団体である。

弘前ねぶた保存会 弘前ねぶた囃子

ワークショップ&コンサート



弘前ねぶたの保存・伝承を目的に設立された団体。当日は弘前ねぶた囃子を長年演奏してきた講師を招いてくれます。講師の方は当日までシークレット！おたのしみに。

当日のスケジュールと内容

- 全くの初心者向け
- ねぶた笛（地元のねぶたねぶたの笛）が吹ける方向け
- 登山囃子や獅子踊り、担ぎ桶創作太鼓等の経験者向け
- 鑑賞会ですとどなたでもご覧いただけます。

A会場（藤田記念庭園・和室）

10:00～11:20	● 青森ねぶた囃子 ※青森ねぶたの笛が必要です。演奏法についての紹介とレッスンを本場から講師を招き行います。
11:30～12:50	● 五所川原立佞武多囃子 ※立佞武多の笛が必要です。演奏法についての紹介とレッスンを本場から講師を招き行います。
13:00～14:20	● 弘前ねぶた中上級編 ※弘前ねぶたの笛が必要です。弘前ねぶた囃子が持つ旋律を生かして魅了する方法を熟練の方達から学びます。
14:30～15:50	● お山参詣 登山囃子 ※登山囃子の笛が必要です。演奏法についての紹介とレッスンを津軽笛の会が行います。

B会場（藤田記念庭園・茶室）

10:00～11:20	● 初心者のための音の出し方 ※いずれかの横笛が必要です。音が出ないという方、音を出して新しい笛ライフを始めよう。今まで音が出なかった人のために津軽笛の会が懇切丁寧に教えます。
11:30～12:50	● ねぶた笛でセッション！ ※弘前ねぶたの笛を持参ください。弘前ねぶたの笛で名曲「アメージンググレース」を覚え西洋楽器とセッションします。
13:00～14:20	● いい音を出すテクニック ※いずれかの横笛が必要です。音の深みを出す方法、華やかさを出す方法など本来は門外不出の技術を学びます。
14:30～15:50	● 下北川内地方のねぶた囃子 ※青森ねぶたの笛が必要です。下北・川内のねぶた囃子。演奏法についての紹介とレッスンを本場から講師を招き行います。

C会場（弘前市立観光館・多目的ホール）

13:00～15:50	● 特別講座 かつぎ桶太鼓ワークショップ ※かつぎ桶太鼓が必要です。世界で活躍するかつぎ桶太鼓奏者である林田ひろゆき氏を講師に迎え、普段の祭囃子とは一味違った、かつぎ桶太鼓のテクニックを学びます。
-------------	--

コンサート会場（藤田記念庭園・和室）

16:30～18:00	● コンサート（講師陣等によるコンサート） 弘前ねぶた・青森ねぶた・五所川原立佞武多・川内ねぶた登山囃子・林田ひろゆき和太鼓セッション
-------------	--

鹿田智嵩 (路地裏探偵団) コンサートナビゲーター



路地裏探偵団の団長にして、神出鬼没の謎の人物。ある時は普通のサラリーマン、ある時は弘前のストリートカルチャー研究者、そしてまたある時は、街歩きガイド…と姿をコロコロ変える変装名人。